

ベトナム最新情報

2019年1月29日（火）

— 通巻4516号 —

目次

- 政治・経済
 - = ハノイ市、2009年のFDI誘致目標を50億ドルに
 - = 成長が加速するドンナイ省、今後の課題
 - = ハノイのマンション市場、過剰供給で価格が下落
- 日系企業情報
 - = 日本企業が狙うベトナムの高速道路の「運営権」
- インタビュー
 - = ハノイ証券取引所会長にインタビュー
- 社会・文化・トレンド
 - = テトの過剰な贈り物合戦
- 人事・労務・法律
 - = 【法律Q&A】7日連続で残業した場合の代休
- 一口ニュース（4件）
- 為替・証券市場動向
- 入札情報
- コラム
 - = 二人の青年を盲目から救った4歳児

******* 政治・経済 *********ハノイ市、2009年のFDI誘致目標を50億ドルに**

ハノイ投資計画局によると、市は2019～2020年間に、約100～130億ドルの投資誘致を目標としており、このうち2019年だけで50億ドルを見込んでいる。

市は、投資環境に関する多くの改善策を導入する予定で、グローバルなバリュー・チェーンに参入し、首都と各省・市の利点を活用していく方針だ。

また、重点を置く市場を米国、欧州、日本・韓国の3地域と各大手グループに絞り、市の利点と可能性を紹介し、貿易や観光の促進に合わせた投資促進活動を行う予定。

(Dau Tu 1月21日,P.2)

成長が加速するドンナイ省、今後の課題

Dong Nai省人民委員会の最新報告書によると、2018年の同省の輸出額は186億1,000万ドル、輸入額は160億1,500万ドルに達した。貿易収支は26億ドルと5年連続の黒字となった。

統計総局によると2018年は、ベトナム全体の貿易収支は引き続き72億ドルの黒字で、Dong Nai省の貿易収支は26億ドルの黒字だった。2017年には、この数字がそれぞれ27億ドルと22億ドルだった。

■主要品目の履物・靴が黒字に貢献

Dong Nai省人民委員会によると、同省の主要輸出製品の生産量は高い成長を維持し続けている。また、農産物の一部の輸出価格が上昇したことで、輸出額が増加し10億ドルを超えた。

数百の輸出品目の中で、輸出額の大きい品目は約40品目。履物・靴、繊維製品、繊維素材、木材製品、鉄鋼製品、PC・電子機器・部品、機械設備などが同省の主要輸出製となっている。特に、輸出の上位3品目は、長年にわたり高い成長を維持している。

履物・靴の輸出額は、24億ドル（前年同期比11%増）を超え、同省の輸出ランキング1位となり、毎年2桁の成長を記録している。繊維製品の輸出額は13億ドルで、7%増。繊維素材の輸出額は、11億ドルの17%増となった。

さらに、他の製品も大幅に増加した。鉄鋼製品は7億2,400万ドルの16.8%増、電子機器・PCは6億6,100万ドルの10.7%増となった。

Dong Nai省の商工業局によると、世界経済が安定成長しているため、ベトナム国内企業は外資系企業の受注が多く、輸出額も安定的に上昇している。米国、中国、日本、欧州、ロシアなどの主要な市場に加え、同省の各企業は、自由貿易協定（FTA）の税制優遇措置を享受し、輸出が加速された。

一方、同省の原材料の輸入も大幅に増加している。例えば、家畜飼料・原材料は21.7%

増、化学物質は14億ドルで20.4%増、プラスチック材料は14億ドルで19%増、金属製品は10億ドルで16.7%増となった。

■国家への高額納付トップ5集団

ホーチミン市の306兆3,000億ドン（約1兆5,315億円）、ハノイ市の175兆7,850億ドン（約8,789億2,500万円）、Ba Ria-Vung Tau省の61兆6,931億4,000万ドン（約3,084億6,570万円）、Binh Duong省の40兆ドン（約2,000億円）と共に、Dong Nai省は43兆3,000億ドン（約2,165億円）を国家に納付し、高額納付トップ5に入っている。

Dong Nai省人民委員会によると、同省が誘致した国内投資額は27兆ドン（約1,350億円）で、前年の95.6%相当となった。そのうち、海外直接投資（FDI）は18億5,000万ドルの前年同期比2.7%増、年間計画の185%に達した。

また、新設企業は前年同期比4%増の3,500社に上る。

2018年の結果を受け、Dong Nai省は2019年に以下の6つの目標を設定した。

1. GRDP（Gross Regional Domestic Product）8～9%の増加（2018年は8%）。
2. 1人当たりのGRDP（現行価格）を4,510～4,600ドル（2018年は4,226ドル）。
3. 輸出額を2018年比10～12%増とする（2018年は11.7%増加）。
4. 開発投資総額を90～92兆ドン（約4,500～4,600億円）、GRDPの26～28%とする。（2018年には90兆ドン〈約4,500億円〉）。
5. 社会住宅126軒の完成。
6. 国家予算の収入総額を推定予算に到達させる（2018年の国家予算の収入総額は50兆7,070億ドン〈約2,535億3,500万円〉、年初推定の94%）。

Dong Nai省が抱えている問題としては、社会住宅開発は需要に比べ不足しており、社会住宅支援プログラムの実施は遅れている。国内およびPPPプロジェクトなどの投資手続きに多くの問題があるなど、依然として複数の課題が指摘されている。

また、労働力を必要とする工業団地やFDI企業が集中するDong Nai省は、産業廃棄物の「ホットスポット」とされている。同省は、2019年への目標として、医療廃棄物の100%、有害廃棄物の99%、無害産業廃棄物の100%、家庭固形廃棄物の99%を収集・処分することを目指している。

(Thoi Bao Kinh Te Viet Nam 1月11日,P.14)

ハノイのマンション市場、過剰供給で価格が下落

Savills Vietnam社の『2018年第4四半期不動産市場報告』によると、2018年第4四半期までにハノイでは8つの集合住宅プロジェクトが新たに販売され、2019年には28プロジェクトが販売される予定だという。

■マンションの供給、過去最多

これにより、2018年第4四半期に市場に提供されたマンション数は、前年同期比120%増の1万5,100戸となり、これまでになく供給数を示している。

2018年に取引されたマンション数は3万1,000戸。このうち主流を占めるのはBクラスで前年同期比45%増となった。市場での平均価格は1平方メートルあたり1,370ドルで、同年前期比3%、2017年度比10%上昇した。

同社によると2019年のハノイのマンション市場予測では、引き続き36プロジェクトから4万1,300戸が販売される予定で、主流はBクラスマンションだという。

2019年は、過剰供給による買い手市場のため、マンション開発事業者にとっては、激しい競争が繰り広げられる年となるだろう。

今後は、信頼性の高いデベロッパーによる質の高いプロジェクトが人々の心を掴み市場シェアを獲得し、供給されるマンションが厳しく選別されることになる。

分析によると今後、デベロッパーは不動産開発の多様化を意識する必要があるという。2018年末から市場には、デュプレックス（2階建て）タイプのマンションや、高層にあるヴィラのような様々なタイプが登場している。

Aクラスマンションが急増したため、多くのデベロッパーは、余剰マンションを賃貸やサービスアパートに変更した。

また、一部の業者は年間10%以上の利益を約束する不動産の転貸を始めている。

■キャンペーンで30%値下げする物件も

ベトナム不動産仲介協会は2018年12月、多くのプロジェクトを紹介する『不動産ウィーク』を開催した。このイベントでは、販売価格が5~30%まで大幅に値下げされ、85億2,000万ドン（約4,260万円）から59億6,000万ドン（約2,980万円）へ、あるいは48億8,000万ドン（約2,440万円）から34億ドン（約1,700万円）に値下げされた物件もあった。

不動産市場では、高級物件、特に1平方メートルあたり2,500万ドン（約12万5,000円）以上の物件で値下げが一般化している。こうした状況はハノイのマンション市場で、進行中のプロジェクトから引き渡し後まで全ての過程で、流動性が非常に低いことを物語っている。

デベロッパーが価格を下げると、個人投資家は販売が困難になることから、ハノイのマンション市場は今後も低迷が予想される。

(Phap Luat 1月17日,P.10)

******* 日系企業情報 *********日本企業が狙うベトナムの高速道路の「運営権」**

ベトナム高速道路開発投資総公社 (VEC) が持つホーチミン市－Long Thanh－Dau Giay 高速道路 (55km) の運営権に、日本の投資家が大きな関心を寄せている。

■6車線に拡張すると譲渡額は10億ドル

1年あまりの調査を経て、インデックスコンサルティングは、デロイト、西村あさひ、パデコとともに、同高速道の運営権譲渡可能性に関する調査結果を交通運輸省に報告した。

国際協力機構 (JICA) の支援で2017年6月から進められているもので、VECのMai Tuan Anh 会長は、この調査で日本の投資家は、投資効果を正確に理解できるだろうと話す。

報告書によると、同じく30年の運営権引き受けとしてインデックスコンサルティングは、2案を提示している。

現在の4車線での譲渡額は7億9,600万ドル、2020年に投資家が4億600万ドルをかけて6車線へ拡張することをVECが認めた場合、譲渡額は10億ドルに達する。

VECによると日本側は、拡張後の譲渡案に傾いているという。通行料収入が4車線なら38億1,000万ドルだが、拡張し6車線にすれば53億ドルに増加するからだ。この案は、VECの希望とも一致する。現在のような車両の増加推移を考えると、この道路はあと5～7年で許容を超え渋滞するからだ。

森昌文国土交通事務次官によると、この高速道路の運営権譲渡には多数の日本のインフラ開発企業や、金融大手企業が関心を持っており、国土交通省は引き続きプロジェクトを支援し、そこからベトナムの道路開発を後押ししていきたい考えだ。

また、この運営権譲渡が実現すれば、VECは南北高速道路を中心とする他の高速道路開発に用いることができる10億ドルの資金がすぐに手に入るだけでなく、Cau Gie－Ninh Binh、Noi Bai－Lao Cai、ダナン－Quang Ngai といった他の高速道路に投資家が関心を持つきっかけにもなる。

■この事業を阻む障害

2016年にもVECはVinci Concessionsと、VECが管理運営する高速道路の運営権譲渡実現に向けた調査、計画策定、所管機関への提案での協力で覚書を交わしている。両社の最初の目標は、Cau Gie－Ninh Binh 高速道とホーチミン市－Long Thanh－Dau Giay 高速道の運営権譲渡の実現だ。

このような運営権の譲渡は、道路開発に国家予算以外の財源を活用し、公的債務の圧力を軽減するため、VECにとっても交通分野全体にとっても効果が期待できる新しい方向性と言える。

民間に期限を定めて運営権を譲渡すれば、初期投下資本を早期回収できるだけでなく、

オペレーションに先進技術が導入されることで運営管理の質も上がる。

冒頭の日本企業調査結果について VEC 幹部は、評価するための一定期間が必要なだけでなく、譲渡を実現するには政府や交通運輸省、同社内の国有資本管理委員会の承認が必要になるという。

また、VEC の高速道路 5 事業は財政構造再編計画の意見調整中であり、ホーチミン市ー Long Thanh-Dau Giay 高速道の運営権譲渡の法的根拠も、これが完了しなければ確立されない。「これが、譲渡を検討する投資家側にとって問題の一つとなっている」と VEC の担当者は話す。

(Dau Tu 12 月 3 日,P.10)

***** インタビュー *****

ハノイ証券取引所会長にインタビュー

2018 年は、ハノイ証券取引所（以下、HNX）が直接管理、取り扱いする証券、債権、デリバティブ（金融派生商品）の 3 市場が大きな成長を遂げた。昨年の HNX の証券・債券の両市場の資本総額は、GDP の 40% に相当する 2,000 兆ドン（10 兆円）を記録。HNX 取締役会 Nguyen Thanh Long 会長に、2018 年の総括及び 2019 年の動きに関してインタビューをした。

■UPCoM 市場は一つの市場として取り扱われるべき

Q： 2018 年、世界証券市場の変化はベトナムにも大きな影響を及ぼしたと思いますが、2018 年の HNX の証券市場はどのような変化がありましたか？

A： 2018 年は、債券市場とともに、HNX の証券市場は規模及び品質の面で非常に積極的な成長を見せました。2018 年、上場と HNX で取引登録された企業の数が増加し、2017 年に比べて 100 社増加し、計 1,174 社になりました。それに加え、時価総額は前年比で 24% 増加しました。上場及び取引登録市場の資本総額は 5% 増加し、950 兆ドン（約 4 兆 7,500 億円）に達しました。

もし UPCoM 市場から移動してきた企業の資本である 50 兆ドン（約 2,500 億円）も合わせると、HNX の 2018 年における資本総額は 1,000 兆ドン（約 5 兆円）になります。その中でも、注目すべきなのは UPCoM 市場の資本が 750 兆ドン（約 3 兆 7,500 億円）も貢献しているところで、これは 2016 年に比べると、倍増していることがわかります。

証券市場の指数は変わっていませんが、2018 年の証券市場の流動性が積極的な上昇を見せているのは注目すべきところです。2017 年の平均取引総額が 8,860 億ドン（約 44 億 3,000 万円）だったのに対して、2018 年は 33% 増加し、1 兆 2,000 億ドン（約 60 億円）に達しています。

Q： 先ほど、UPCoM 市場がホーチミン市証券取引所（HOSE）と NHX の 2 市場を超える 800 以上の株式を扱っていると仰いました。今後の UPCoM 市場はどのように成長していくとお考えですか？

A： この市場を管理・運営する機関の一貫した考え方は、UPCoM 市場は、各企業を成長・発展させるための場所であり、それを通して証券市場での活動に慣れていくことができるところにあります。

つまり、証券市場の品質向上に努め続けることと共に、2019 年は、UPCoM 市場の魅力を向上させるために、HNX は同市場の刷新方法の研究に集中し、株式化やディスインベストメントや市場の透明化の促進に貢献していきます。

ここ 10 年間の成長で、UPCoM 市場は徐々にこれらの目標を達成し、現在のようなレベルまで成長したことで、管理機関は取引登録をした証券の流動性と集客性の改善方法を追加していかなければなりません。

その中で、証券市場の本質を正しく見極めるために考え方を変えることが重要です。UPCoM 市場で評価の高い株式については、上場されている株式と同様に扱われるべきなのです。流動性の低さを克服したければ、市場解決策を考慮しなければなりません。管理機関が解決策を展開していくために、これまでも、そして今も HNX は市場におけるリスクを減らすための活動を促進しています。

■企業債券に関する新たな法的根拠

Q： 2018 年の債券市場についてはいかがでしたか？

A： 2018 年は、国家予算に釣り合う十分な資金調達ができただけでなく、国債（TPCP）市場が成功を納めた年と言えます。注目すべきなのは、政府予算の枠組み再構築を実現したと同時に、国家予算のバランスをとる能力が向上したことで、政府が公債を削減する第一歩を踏み出したことです。

具体的に言うと、発行市場で、国家予算における国債を通じた資金調達額が、ここ三年減少しています。2016 年の国債発行額は 317 兆ドン（約 1 兆 5,850 億円）でしたが、2017 年は 195 兆ドン（約 9,750 億円）、2018 年は 175 兆ドン（約 8,750 億円）に減少しています。

年々国債による資金調達額が減少しているだけでなく、同調達における金利も減少しています。2016 年の国債調達金利の平均は 6.48% でしたが、2018 年の 11 か月を見ても、4.62% まで減少しています。それに加えて、国債発行期間は長期化していることが、返済の圧力と国家予算のリスクを減少させています。

また、債券発行の平均期間は 8.22 年（2016 年）から 12.04 年（2018 年初 11 か月）に伸びています。これは国債の平均期間を引き上げる一助となり、同数値は 6.47 年（2017 年）から 6.87 年（2018 年初 11 か月）に増えました。

Q： 金利が上昇傾向にある中で、国債調達金利は低下していますが、これは矛盾ではありませんか？

A： 国債調達における金利の低下を後押しした要素は2つあると考えています。1つ目が銀行システムの流動性が高かったこと、2つ目は社会における資本の絶対数が多かったことです。それらとともに流通市場の流動性が良くなったことも、発行市場上の国債調達金利を引き下げることに関わり、特に国債発行市場の金利上昇を抑える中で関係各所が強く協力したことが国家銀行の通貨政策を後押しする力になり、効果的なインフレ抑制を進める一助となりました。

流通市場で際立っていた点は、9兆ドン（約450億円）と流動性を高く維持でき、調達量を10%以上減少させたことでしょうか。さらに、レポ取引が積極的な上昇を見せる中で、国債市場の深さ（Market Depth）が引き続き改善されました。2015年のレポ取引の収益が300兆ドン（約1兆5,000億円）に届きませんでした。今年、1,100兆ドン（約5兆5,000億円）を記録しました。こうした積極的な変化が通貨市場の金利を抑える一助となり、それを通してインフレが抑制され、各企業の投資額を抑える結果となりました。

Q： 政府は企業債券に関する新しい規定を公布しました。この新规定が施行された後、企業債券市場にどのような変化をもたらすとお考えですか？

A： 現在、大半は短期的な融資が占めている中で、銀行システムにおける融資の約半分（GDPの65%に相当）は中長期的な融資です。これが銀行システムのリスクとなっています。国際的には、中・長期的な融資は社債の発行に基づいて進められるのが通例です。つまり、銀行のリスクだけでなく、経済面においても、中・長期的な融資については、社債に移行していくシステムが必要なのです。

社債発行に関する決定第90/2011/ND-CP号に代わる新たな決定第163/2018/ND-CP号は、社債のGDPに占める割合がわずか8%しかない現状に変化を起こす画期的な第一歩と言えるでしょう。こうした動きから、社債市場にはまだまだ発展の余地があることが伺えます。

国際通例に従うと、社債には私募債発行と公募債発行の二種類があります。私募債発行発展促進に関する決定第163/2018/ND-CP号は、非常に重要な要素を含んでおり、国際通例にも合致しています。10年近い国債取引システムの構築と実施の経験から、HNXのインフラは、国際水準に沿った現代的な社債市場発展の要求に十分応えることができます。

■派生証券が一部の投資家に対して防衛策になっている

Q： 派生証券（TTCKPS）の取り扱いが始まって16か月が経ちましたが、同市場ではどのようなことが起こっていますか？

A： 取引が始まってから1年以上が経ち、派生証券は期待以上の積極的な発展を続けています。2018年初11か月で、同市場の取引量は1,700万件の契約に達し、1年と少し前の市場開放時と比べるとその数は15倍にもなります。平均取引数も同時期に比べて6倍に達し

ました。

さらに重要なのは、派生証券商品がリスク回避のツールになっていることが伺えるところです。発行市場に大きな動きがあり、数値が下がると、派生証券市場の流動性が上昇します。こうした動きは派生証券がリスク回避のツールとしての役割を発揮していることの印であり、一部の投資家たちは自らに降りかかるリスクを回避するために派生証券を使っていることがわかります。

Q： 派生証券を取り扱うその他各国が経験したことと同様に、ベトナムの派生証券市場が発展することは、投資家たちの公平性をより高めることにつながりますか？

A： ベトナムの派生証券市場はまだ動き出したばかりで、同市場の投資家の 98%は個人投資家です。しかし、これは同市場だけでなく、発行市場においても同じことが起こってきましたし、今も同じような傾向が続いています。

実際、現在の発行市場の 95%は個人投資家です。発行市場が開放された当初は、現在の派生証券市場と同じような現象が起こっていました。しかし、どの投資家に対しても市場に参入できるような環境を作り出さなければなりません。長期投資家が市場に強固さを作り出す一方、短期投資家の取引は市場に流動性を作り出します。

こうした 2 種類の投資家のグループは、市場発展において欠かすことのできない、形式の異なる取引を行っています。もし短期投資家がいなければ、市場に流動性は生まれません。流動性の低い市場には、長期投資家たちは参入しようとしませんから、そこからさらに市場の流動性が失われて行きます。

さらに重要なのは、流通市場に流動性が足りなければ、発行市場も成長せず、企業の資金調達が困難になることです。そうなると、市場の強固さは保たれず（市場の揺れが増加する）、機関投資家の取引比重の価値も低くなります。

派生証券市場では、買い占め投資とリスク回避投資が絡み合っています。個人投資家の比重が非常に高いのは、現在の発行市場とベトナムの投資文化の背景から考えても、避けることができないプロセスなのです。

他のプラスの視点から見てみると、個人投資家が能動的・積極的に取引を続ければ市場の流動性が高まり、機関投資家の市場参入を促すことになります。これは主観的な意見ですが、銀行分野の一部の規定で機関投資家の市場参入が制限されていることは、商業銀行の市場参入に弊害を生み出しています。

また、機関投資家の市場参入を制限する他の理由に、監査銀行の清算参加者と一般清算参加者の間の業務プロセスが具体的なガイドラインに沿っていないということもあります。もし、こうしたいくつかの基本的な問題を解決することができれば、機関投資家の市場参入も増え、個人投資家と機関投資家のバランスも徐々に取れてくるのではと考えています。

(Kinh te 1月1日,P21)

******* 社会・文化・トレンド *********テトの過剰な贈り物合戦**

テトは親戚や友人などを訪問するための貴重な時間だ。しかし、近年はテトのお祝い贈り物の意味が大きく変わってしまった。

■正月の贈物は賄賂なのか

テトが近くなると、あらゆる人がぞろぞろとやってきて、上司にテトの挨拶をし、プレゼントを贈るようになった。分厚い封筒に数億ドン(数百万円)を忍ばせることもある。

これがテトのお祝いと言えるのだろうか。これは形を変えた賄賂なのか。上司が部下を引き上げ役職に就くことができたため、感謝し恩を返すということもあるだろう。あるいは、部下がまだ昇進していない場合、目をかけてくれるよう、注意をひくためのものでもある。

昔からテトの贈り物に関し規定があった。しかしその規定は厳密には実施されておらず、十分な制裁措置がなく、問題の解決にはつながらない。

一方、賄賂のような贈り物を制限するには、上司がまず模範となる必要がある。もし上司が厳守しなければ、この規定は何の効果もない。

テトの贈答行為について、国民や政治団体、社会団体は監視を強化する必要がある。相応しくない状況を見つけた時は、解決するよう申し出ることだ。上司から部下だけでなくその逆の場合も同様だ。

そのため、テトの贈り物に関する規定では、上司と部下の判断だけに任せるのではなく、さらに明確な規定が必要だ。具体的に言えば、企業（外資系企業を除く）が公的機関の幹部に、自分たちの企業に利があるよう、投資計画や金融、銀行へ便宜供与を図ったり頼みこんだりすることも含む必要がある。

■受け取らなければ誰も贈らない

行き過ぎたテトの贈り物を自粛するという考えは、現在の状況では大變的を得ている。テトに上司にプレゼントを贈るのは悪いことではない。しかし、この贈答行為は変容してしまい、ただ上司に気に入られたいためだけに贈っている。

だからこそ指導者は模範となる必要がある。贈答品を受け取らないことを模範として示し、規定を厳守すべきで、幹部や党員の模範となる行動に責任を持つのである。まずは政治局委員、党書記委員、中央執行委員から始めるべきだ。幹部や党員は規定を遵守し贈答品を受け取らない。

例えば幹部が各地でプレゼントを受け取らないと伝えておき、もしあったとしても指導者は受け取らない。これにより次第に行き過ぎた贈答品合戦はなくなっていくだろう。し

かしテトの年賀状や果物の砂糖漬けなど、従来からの贈り物は当たり前のものだ。プレゼントがお金だったり、それが大変高額であったりすればやめたほうがいい。もしそれを受け取ればそれが前例となるからだ。

国営企業や民間企業は、各省庁との関係が必要なので贈り物をする。しかしそれは国家予算には何の影響もない。だが毎年その状況が発生するとなればそれは前例となる。政府査察官は、悪い事態が発生していれば誰でも通報できるようホットラインを設ける。実際、長年にわたり規定に沿わないテトのプレゼントを受け取ったという状況は発生していない。

(Dong Thap省国会代表団副委員長 Pham Van Hoa氏のコメント)

■贈り物は変化する

この問題に関する政府からの通達はあるが、大切なのは人々の意識がこの問題を解決するのにどのように厳正に実施できるかどうかだけだ。

文化的な側面から言えば、昔からテトがあり、春がやって来る折に人々はお互いに贈り物をした。この贈り物の話をはるか昔のことだ。贈り物が本来の意味を持っていれば別だ。しかし、贈り物というのは変容しやすい。よからぬ目的をもくろんで贈られると悪用され別物になってしまう。

(元国会文化-教育-青年-児童委員会主任 Dao Trong Thi教授のコメント)

(Lao Dong 1月5日,P.3)

***** 人事・労務・法律 *****

【法律 Q&A】7日連続で残業した場合の代休

Q： 規定では、1か月に最大7日間連続で残業した場合、雇用者は労働者に休めなかった時間に等しい時間の代休を与えなければならないことになっていますが、この代休は会社が設定するのでしょうか？ それとも労使の合意で決めるのでしょうか？ 労働者がこの代休にも出勤することを希望した場合は、認めても良いのでしょうか？

ホーチミン市労働傷病兵社会福祉局の回答：労働法の細則を定めた政令 45/2013/ND-CP 号第4条3項 a では、「労働者が1か月間に最大7日間連続で残業した場合、雇用者は労働者に対して休めなかった時間に等しい時間の代休を与えなければならない」と規定しています。

この規定に基づき会社では、代休を自主設定するか、労働者と合意するか、どちらかの方法を選ぶことができます。労働者がこの代休にも出勤することを希望し、会社がそれを認めた場合は、労働法第97条で定める時間外給料を支払わねばなりません。

なお注意点として残業させることができるのは、▽労働者の同意がある、▽残業時間が1

日の通常労働時間の 50%を超えず（週当たりでの労働時間設定の場合は、1日の通常労働時間と残業時間の合計が 12 時間を超えない）、月間で 30 時間を超えず、年間で 200 時間を超えない（政府の特例においては年間 300 時間まで）、という条件を全て満たさなければなりません。

(Nguoi Lao Dong 12 月 11 日,P.9)

***** 一口ニュース *****

Binh Duong 省で、Song Than2 工場の廃水処理場が落成した。自然環境に廃水を出さないため、微生物による排水処理技術を応用し、資源環境省や保健省の基準を満たす生活・生産用水にする。1日当たりの処理能力は 10,000~18,000 m³。

(Sai Gon Giai Phong 1 月 28 日,P.2)

Thua Thien Hue 省人民委員会は Chan May – Lang Co 経済区における Kim Long Motors 自動車組み立て・生産工場のプロジェクトを承認した。総投資額は 3 兆 3,300 億ドン(約 166 億 5,000 万円)で、敷地面積は 160ha。工場は排出ガス Euro5 基準を満たす自動車の年産 1 万 6,000 台を目指す。このプロジェクトは同省の経済を活性化し、3,000 人の雇用を創出することも期待されている。

(Tien Phong 1 月 28 日,P.2)

中国系の Huawei Vietnam 社は 1 月 23 日、ベトナムの国営企業に Huawei の技術を提供したい考えを表明した。具体的には、ベトナムにおける通信、エネルギー、財務、運輸、石油ガス、製造など様々な分野がデジタル変革を行えるよう、創造的な情報技術・メディア通信を提案する予定。

(Dau Thau 1 月 24 日,P.2)

商工業省は CPTPP におけるベトナム製品の原産地証明に関する通達を公布した。この通達は 3 月 8 日から発効するため、商工業省は原産地証明書の発行機関に対し、通達発効前の輸出品に、CPTPP 規定に基づいた証明書サンプルを発行するよう求めた。

(Thoi Bao Kinh Te Viet Nam 1 月 28 日,P.2)

為替・証券市場動向	
為替相場	キャッシュ 23,240 ドン/USD <国家銀行中心レート 22,858 ドン/USD> (1月29日 12時00分・Vietcombank)
株価指数	VN-Index 909.46(▼-2.72/-0.30%) VN 30 865.44(▼-3.32/-0.38%) (1月29日前場終値・ホーチミン市証券取引所)

***** 入札情報 *****

【施工】 Quang Nam 省 Tay Giang 県 Gari 村中心部への自動車道建設

(Quang Nam 省人民委員会承認 2019 年 1 月 21 日付文書 197/QD-UBND 号)

パッケージ名	パッケージ価格	資金源	請負業者 選択方法	請負業者 選択期間	契約 形式	契約実施 期間
道路施工	379 億 5,302 万ドン	省・県 予算	国内公募 入札	2019 年 第 1 四半期	総価式	450 日

投資主：Tay Giang 県建設投資プロジェクト管理委員会

(電子入札システム 1 月 22 日)

***** コラム *****

二人の青年を盲目から救った 4 歳児

誕生日を目前に控えたある日、Mai Reon 君は事故に遭い、脳と肺が押しつぶされてしまった。Phu Tho 省の総合病院の医師たちは、この男の子を救うことができなかった。

■ちょうどクリスマスの日

「愛しい我が子！ 君はとても立派な子供です。目が見えなくて苦しんでいる人たちに光を与えるために、自分の角膜を捧げるのですから」

男の子の母親は、医師が角膜除去手術をする前、幼い我が子に向かってそう心の中で唱

えた。それはちょうど、2018年のクリスマスのことだった。

Mai Reon 君は、Nguyen Manh Minh Toan、Mai Mika 夫婦の間に日本で生まれ、日本国籍を得た。毎年1度、親戚を訪ねるためにベトナムを訪れる。今回、田舎を訪ねた後、この夫婦は、息子を、Phu Tho 省に住むおばあさんとおじいさんのもつに預けた。

不幸なことに、Mai Reon 君は事故に遭い、救急病院に運ばれた。

息子が入院したという知らせを受けて、夫婦は日本から大急ぎでベトナムに戻つた。その時は、これが息子 Reon のそばにいたことができる最後であるとは思つてもみなかった。

12月24日は、Reon 君の4歳の誕生日だった。

Reon 君は病院で寝ていた。両親、親戚、医師たちはクリスマスケーキを用意し、サンタクロースも彼の誕生日を祝うためにプレゼントを贈つた。

しかし、Reon 君を救うためのあらゆる努力も失敗に終わってしまった。彼はちょうど自分の誕生日に、家族の腕に抱かれながら旅立つた。

■角膜提供を決心し、インターネットで呼びかける

最後の時が近づくなか、Reon 君の両親は、目が見えなくて苦しんでいる人たちに光を与えるために、息子の角膜を提供する決心をした。

その時父親は、息子の角膜を提供する意思をどこの機関に知らせるべきか分からなかったため、自らが持つ個人ホームページ上に情報を載せた。

「息子が生き延びる可能性はもう残っていません。現在は、呼吸器によってかろうじて生き延びているだけです。この憐れな息子の両親としての願いは、息子の角膜を必要な人に提供することです。もし、必要な人、あるいは必要な病院などを知っている人がいたら、私に連絡をください」

アイバンクと中央眼科病院の院長である Nguyen Huu Hoang 氏は、この情報を知り、直ちに Phu Tho 病院に駆けつけて、男の子の角膜を直接受け取つた。

最期の別れの時、母親は頭を傾けて小さな男の子に口づけた。

「今サンタクロースがトナカイのそりに乗ってあなたを迎えに行くからね。サンタクロースと一緒に世界中をまわって、皆にプレゼントをあげてね。あなたの目の光は、家族の誇りだよ。いつまでも忘れないからね」

両親が息子 Reon 君の角膜を提供したいという願いは、家族全員の同意を得た。

「息子の二つの眼は澄んでいて、とても綺麗です。Reon は、天に帰って行きますが、それでも人の役に立つことが出来ます。息子の眼は、移植を受けた人の眼の中で、輝き続けるでしょう」と母親は語つた。

医師は、Mai Reon の両親が見守るなか、男の子の角膜除去手術をした。彼らはそこに立ち、手術が終わるまで、医師の動きを真剣に見守つた。

最後の別れについて男の子の両親は、「お医者さんのおかげで私たちと息子の願いが実現しました。悔いはありません」と語つた。

Hoang 院長は「Reon 君の移植は、死の淵に立ちながら、角膜を提供した最年少の事例です。この気高い勇気ある行動は、光の無い世界で生きてきた 2 人の青年を救いました。移植を受けた人に、光と人生の意義を与えたのです」と語った。

中央眼科病院の医師たちは、Thanh Hoa 省に住む 20 歳の青年に対して、Reon 君の角膜移植手術を実施した。この患者は、両目に角膜ジストロフィー症状があり、ぼんやりとしたものを見ることが出来なかった。移植後、青年は徐々に回復していて、光を見ることが出来るようになって来ている。

週明けに、Reon 君のもう一つの角膜を使って、同様の手術が実施された。彼の角膜の移植を受けたのは、同じく角膜ジストロフィー症状を持つ 20 歳の若い患者だった。

Reon 君は、2018 年 2 月から現在までに、7 歳の Hai An 君と 12 歳の Van Nhi 君に続き、角膜を提供した 3 番目の男の子で、角膜を提供した最年少の子供となった。

(VN Express 1 月 2 日)